

プログラム名 (40字以内)	増やそう地域を愛する人！地域資源情報受発信事業協働体験		
団体名/所属	三浦市/市民部市民協働課		
活動区分	就労体験活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	自動抽選
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含まない
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	市民協働の実践、特に関係人口の増加策、情報発信に興味がある人		
活動期間	2025/8月・9月の平日で5日程の予定 (採用決定後活動日程相談)	主な活動予定場所	三浦市民交流センター(三浦市初声町下宮田5-16 ベイシア2階)
プログラム実施の目的	神奈川県三浦市が取組む「地域資源情報受発信事業」を通じ、地域や外部有識者と協働して地域資源情報の掘り起こし、キーマンとの接触、イベントの企画・立案や情報発信を行うことで、市民活動の場(=プラットフォーム)を作り、街に「にぎわい」を生み出す手法を検討する。また、これらを通して、地域との関わり方についての学びを深める。		
具体的な内容(800字程度)	令和2年度から4年度まで、神奈川県「地域の支え合い仕組みづくり事業」の採択を受けた「Don't tell anyone! 地域資源情報を集めて広めて繋がりよう大作戦！」に取り組んだ。 この取り組みは、活躍の場を見いだせないリタイア後の高齢者が、社会参加のきっかけとなる身近にある地域の良さ＝地域資源を再発見、再発掘し集約する活動に参加し、地域資源情報の集積と発信に貢献できるプラットフォームを作るというもので、三浦市民交流センター条例に合致した事業となる。 目指すべき方向は、リタイア後の高齢者が地域で貢献できることを実感できる「地域資源情報を受発信するプラットフォーム」を形成する。個々の活動が各メディアに載せて伝搬されることで活動のアウトプットが体感でき、情報の受発信を通じて、他地域、多世代の人々と繋がり、具体的な社会との関係性を得て生きがいを見出す。再発見・再発掘される地域資源は、景観や特産物、生産される製品など多岐の分野で多様なものとなることが期待できる。特に、何気ない路地の風景、眺めの良いスポット、昔話、地域の食文化など、彼らしか知り得ない貴重な情報の共有を進め活用を図る。また、講習等を通じデジタルリテラシーを高め災害時等に情報インフラとしても機能させる。 コロナ禍を経て、地域を見直す機運が高まっていること、また、地域の将来を見据えたシビックプライド形成に注目が集まっていることも重要なキーワードとしてとらえている。 事業の詳細は事前に資料等を提供しガイダンスしていくが、自由な発想で事業提案を行っていただきたく、地域の事例や参考とされる文献諸資料を基にオンラインでの意見交換を通じてまとめる。また、可能であれば、三浦市内でフィールドワークを数日行い肌感覚で地域を考えていただく機会を用意したい。		
【総額】参加するための費用	【各回】昼食代(実費・近くにスーパーマーケットあり)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	7,700円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	【各回】交通費 2,120円(東京駅～[京急]三崎口の往復を想定)		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	6,300円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	地域の支え合い仕組みづくり事業: https://www.miuracc.org/sasaeai/ ニナイテカレッジ: https://www.miuracc.org/ninaite-college/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		